

125 昭和時代 太平洋戦争へ



近衛文麿

< 第二次近衛 内閣 > の内政

フツウの人が国に逆らう“非国民”をいじめ始める！

国民精神総動員運動

近衛が呼びかけ

総力戦体制。こんな体制に喜んで協力するでしょうか？やっぱり楽しく生活したいですね。そこで、戦場で戦っている兵隊さんに申し訳ないと思わないのか？！と戦争に逆らえない「空気を」を作りました。戦争に疑問を持つことが「言いつらい空気」を作りました。のちには配給の量を減らすいじめも受けるのです。「欲しがりません勝つまでは」「ゼイタクは敵だ」それを政府が強制するのはなく、まわりにいるフツウの人たちが「戦争に協力しない非国民」を進んで攻撃し始めるのです。



1940 配給制・切符制

配給制…米・醤油など必需品 切符制…服や砂糖など非必需品

1940 近衛の一党一党作り(新体制運動)を見て立憲政友会、民政党が自主解散。

近衛の新体制運動の影響

→1940 大政翼賛会

政党ではありません！ 総理大臣を総裁、支部長を道府県知事、町内会、隣組を末端組織とする**上意下達機関**となった。

1940 大日本産業報国会

すべての労働組合を解散して結成。

1940 国民服令 男…国民服 女…もんぺ(割ぼう着)



清太少年が国民服、妹の節子は、もんぺ姿です。

国民はなぜ戦争を支持したか。

戦争は国民が渴望した平等を実現した。財閥のお嬢様ももんぺ(外出時)だし、お金があっても配給制だから買えない。

1940.11 元老西園寺死去。元老不在に。

→首相奏薦の任は 木戸幸一内大臣 に。

新体制運動の教育への影響

→1941.3 国民学校令

小学校を国民学校と改称。ナチスドイツ式軍国主義教育。

< 第三次近衛 内閣 >

南に石油

第三次、南部仏印進駐、対日石油禁輸！

・対米強硬論の松岡洋右 外務大臣を外して成立した新内閣。

1941 ドイツ快進撃、仏印・蘭印がら空きオランダ、フランスはドイツ占領下におかれました。

1941.7 南部仏印進駐

南方資源 が目的です！

→米、対日石油禁輸

在米資産凍結 で対抗

実はこれも大打撃で、日本企業が貿易に使うドルはたいてい横浜正金銀行の在米支店に預けていたので、貿易ができなくなるんです。

英蘭中も同調、ABCD 包囲陣で圧迫。

石油禁輸されるまでは対米戦争なんて実は全く考えていませんでした。

1941.9 帝国国策遂行要領 決定

…御前会議…で決定。日米交渉が

10月上旬までにまとまらなければ日米開戦を決定。

交渉継続主張… 近衛 総理大臣

交渉打切主張… 東条 陸軍大臣

二年分の石油備蓄が尽きたら日本に勝機は来ない。米国の工業力はすごいから、勝つなら今しかない。

10月上旬を過ぎた10月16日、内閣総辞職。